



平成22年9月22日

記者配布資料

大阪経済記者クラブ会員各位
(同時提供＝大阪市政記者クラブ)

大阪市と大阪商工会議所の共同による 「大阪城公園観光拠点特区」の申請について

【お問合せ先】

大阪商工会議所 地域振興部（吉田・川端）
TEL 06-6944-6323

- 大阪商工会議所と大阪市は共同で、「地域活性化総合特区」として「大阪城公園観光拠点特区」を平成22年9月21日に国に提案した。特区提案では、大阪市が市民や民間と協働して、大阪城公園における観光にぎわい施設の設置、もと市立博物館の民間事業者による活用など、公園の有効活用にかかる規制緩和や、民間事業者の参入促進につながる税制上の特例や財政支援措置を盛り込んでいる。
- 大阪商工会議所は、現在、当地の成長戦略となる新ビジョンの策定を進めており、大阪へのインバウンド促進については、大阪市と協働して取り組むことで合意している。具体的には、特に中国・アジアからのインバウンド促進にむけて、①大阪城を核とした観光振興、②中之島を中心とした水都の魅力向上、③インバウンドによる買い物消費拡大——という3テーマについて、「旅游都市」（中国語で観光都市のこと）化構想と名づけ、平成23年度以降に協働で実施する事業を検討しているところである。
- このたびの特区提案は、「旅游都市」化構想の実現に向けた具体的な取り組みの一つ。「特別史跡」大阪城は、大阪から京都、富士山、東京へと結ぶゴールデンルートでの起点の一つで、外国人観光客に最も人気の高い観光名所である。大阪のシンボルに相応しい観光拠点としての魅力を高め、より多くの観光客に親しまれる賑わい拠点となるよう、大阪商工会議所と大阪市は共同で、大阪城の特別史跡としての価値を高める総合的な施策を推進するとともに、都心にある大阪城公園の有効活用を図り、民間ニーズにも対応して、投資を促進する取り組みを進めていく。

以上

大阪城公園観光拠点特区



民間の知恵と資金などを最大限活用して、市民の参画を得、幅広いコンセンサスを促すことで、大阪城公園の一層の魅力向上を図る。

民間からの知恵や工夫

大阪商工会議所



「特別史跡」としての価値を高め、世界に誇りうる観光拠点とする

「特別史跡」大阪城は、歴史的な遺産が重層的に存在している歴史と文化の拠点であり、天守閣は、もと市立博物館とともに市民の浄財により建築された市民の誇りでありシンボルとなっている。また、同時に外国人観光客にも最も人気の高い観光名所でもある。

必要な措置	内容
規制の特例措置	<ul style="list-style-type: none"> ■公園内に観光にぎわい施設を設置する場合のガイドラインの設置 ■国有地での利用についてのガイドラインの設置 ■文化財保護 特別史跡地区内での事業展開の円滑化
税制上の支援措置	<ul style="list-style-type: none"> ■公有地を活用する民間事業者への税制特例
財政上の支援措置	<ul style="list-style-type: none"> ■公有地を活用する民間事業者への助成 ■大阪城公園内の文化財の保護・普及に資する事業についての公的支援
金融上の支援措置	<ul style="list-style-type: none"> ■建物に対する無利子貸付

大阪城公園観光拠点特区

大阪城エリアでの取り組み

外国人観光客がたのしめる エンターテイメント面での充実

もと市立博物館の活用

昭和6年に、天守閣とともに市民からの寄付により竣工し、活用されてきた歴史ある建物ですが、平成13年の市立博物館の閉館以降、活用されていない状態にあるもと市立博物館を事業主体者を公募して、建物内部をホテルや物販店舗、レストラン、屋上テラスなどに活用します。



昼夜楽しめる大阪城の魅力向上

時代衣装でのおもてなしでお迎えするイベント開催や、今年10回目を数えた「大阪城 城灯りの景」、「大阪城 星空コンサート」を充実します。また、公園内のライトアップの整備を行います。

大阪迎賓館の有効活用

APEC首脳会議が行われた西の丸庭園内の大阪迎賓館を活用する民間事業者からの提案を募集します。



大阪のシンボル 「大阪城」の魅力向上

本丸地下に眠る 豊臣期石垣地下公開施設の設置

現在の本丸エリアの地下に眠っている豊臣期の石垣を間近で見学していただくため、地下遺構物の保存と公開を行い、歴史を刻む大阪城の新たな魅力づくりを進めます。
また、大阪城に関する重層的な歴史的事実の検証をさらに深めるとともに、現存していない櫓などの史実に基づいた復元をめざしていきます。

観光賑わい施設の設置

売店・レストラン、移動手段となる拠点施設などの園内サービス施設について、エリア全体の一層の魅力向上に寄与する場所に新たに民間公募により魅力ある施設を設置します。



市民が誇りを持っている 史実に磨きをかける

現存する歴史的建造物 ガイドツアーの実施

1620年に創建された城内最古の古建造物である千貫櫓、また大手口枡形に位置し、現存する同種の櫓の中でも最大規模である多聞櫓、江戸幕府の金蔵の中で唯一現存する金蔵の内部を、これまでは秋に数日一般公開していたが、年間を通じて訪れる観光客に見ていただけるようにするため、案内所の設置や有料のガイドツアーなどを検討します。

市民ボランティアの活用

大阪城甲冑隊や石垣の清掃、イベント等での活動、ボランティアガイド等、現在活躍されている市民ボランティアの活動を、今後も継続して活用し、市民参画におけるホスピタリティの向上を図ります。

生き物の空間としての 緑の育成

市民の森など貴重な財産である豊かな緑を、生物多様性を体感でき、観光にも寄与する空間として育みます。